

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部	
科目名称 [英語名称]	美術史 [Art History]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	110830	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	園田 博一			学位授与の方針 との関連			
授業概要	本授業では、西洋美術史の通史を解説し、歴史の流れとそのエポックを紹介しながら学習する。原始美術からエジプト、ギリシア・ローマ、キリスト教美術、ロマネスク、ルネサンス、バロック、ロココ、近代美術(新古典、ロマン主義、写実主義、印象派)、現代美術への流れを学習する。併せて日本美術史についても概略を解説する。現代に生きる学生が歴史の流れを概観し、そこから学ぶ造形的な様々な要素を自己の表現に生かすことに繋げるようにしたい。						
関連する科目	博物館概論、博物館資料論、博物館資料保存論、博物館展示論の学習の併用が望ましい。						
授業の進め方と方法	テキストを基に、美術史上の西洋・日本の各時代の様式や概要を説明する。各時代の代表的な作品については、社会的背景を基に解説を加え教養と関心を高める。映像などを用い、視覚的にアピールできる工夫を行う。授業後半では学生自身が選択した作品の実像に迫る体験を実施し、作品の持つ魅力に迫る。実技活動を通し、感性を養うことをめざす。展覧会の鑑賞などを通し、芸術を生活の中に取り組みするスキルを高めたい。						
授業計画	第1回:オリエンテーション お互いを知り合う 自己紹介 美術史について体験談を語る 第2回:原始美術と古代オリエント美術 ギリシア美術 ローマ美術 第3回:中世美術(キリスト教美術、ビザンチン美術) ロマネスク・ゴシック美術 第4回:ルネサンス美術 三大巨匠を中心に 第5回:バロック、ロココ、北方ルネサンス 描画実習Ⅱ一点透視図法 第6回:近代1「新古典主義、ロマン主義、描画実習Ⅲ二点透視図法 第7回:近代2「写実主義、印象派」 マネ、モネ、ルノワール、ドガ 第8回:近代3「象徴主義、後期印象派」 セザンヌ、ゴーギャン、ゴッホ、ルドン 第9回:現代美術1「キュビズム、シュルレアリスム」ピカソ、ブラック、ダリ、マグリット、エルンスト 第10回:日本美術 古代から江戸まで 仏像と寺院 第12回:日本美術 近世まで 障壁画 琳派、浮世絵 第13回:日本美術 明治から昭和 第14回:日本美術戦後から現代まで 郷土(宮崎)の作家たち 第15回:現代美術 20世紀美術から21世紀の今へ 世界と日本の動向						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術史と作品資料鑑賞を通し、その成り立ちと時代背景を考察しながら理解を深める。 ・先人たちが築き上げてきた文化活動の発展が、文明の進歩とともに生きてきた背景を美術史の流れの学習により、教養としての基礎知識をたしかなものとする。 ・美術史を学びながら、物を見、表現する基本であるデッサンの技術を学ぶことで見る目を養うことが可能となる。 						
授業時間外の学修	学外の情報を積極的に取り込み、美術館などの施設に出かけて本物を見ることを実践してほしい。TV番組(NHK日曜美術館などの視聴)						
課題に対するフィードバック	講義による理論的なことを整理しレポートを提出する。実技実習では制作の取り組み方を評価する。取り組み方への姿勢を評価する	評価方法	提出物の採点による。(参加様子30%、課題制作30%、課題レポート40%)				
テキスト	『西洋美術史』高階秀爾監修、美術出版社(1900円+税) ・日本美術 手作り資料を提供する。						
参考書	参考書籍は、授業のなかで紹介していく。手作り資料を参考とする。						
備考	※受講生は、実技演習で2Bの鉛筆を使用するので準備しておくこと。						